



# 三瀨保育園 園だより

September 2022



## クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

### たんぽぽ組

- ・健康に配慮してもらいながら、生活リズムを整えて快適に過ごす。
- ・戸外でのびのびと体を動かし秋の移り変わりを感じながら探索活動や製作を楽しむ。

### もも組

- ・夏季の気候や衛生に配慮して、ゆったりと心地よく過ごす。
- ・水遊びや感触遊びなど、夏ならではの遊びを伸び伸びと楽しむ。

### ばら組

- ・季節の移り変わりを感じ、秋の自然に触れる。
- ・運動遊びを通して、様々な体の使い方を知る。

### うめ組

- ・気温の変化に留意し、生活リズムを整えながら安定した生活ができるようにする。
- ・散歩や戸外遊びを通して、秋の自然に親しみ興味関心を持つ。

### すみれ組

- ・様々な運動遊びを通して伸び伸びと体を使えるようになり、友達と一緒に活動する楽しさを感じる。
- ・季節の移り変わりを感じながら秋の自然や気候に親しむ。

### ゆり組

- ・個人や全員での目標に向けて、運動家の練習を頑張る。
- ・季節の移り変わりに気付き、自然や生き物に興味関心を持つ。

なんだかあっという間に8月が終わってしまったのは、私だけでしょうか？あれよあれよというまに夏が過ぎ去り、9月は秋の気配が…などと話したいところですが、次は台風の到来が心配な季節になりそうですね。

さて、先月子ども達はひたすら水と触れ合った時期だったように思います。キッズリーでもプールでの生き生きとした子どもたちの表情をご覧いただいておりますが、大雨の日に泥遊びをしたり、掃除中にホースの向きをブイッと変えて水浸しになったり。ケラケラと笑いながら楽しく過ごしました。

そして、保育園を休んでお盆をご家族で過ごしたことも子ども達にとってはかけがえのない思い出になったのではないのでしょうか？お盆明けの充実した子ども達の表情や、話したくて仕方ないというずうずうした語りかけに私たち保育園もホッとしたことです。

というのも・・・。人生の中でも一番感性が育つ就学前の時期に、コロナ禍がこれほどまでに長引き、どうしたらいいのだろう？と考えてしまう事も多々ありました。人とのかわり方、わくわくする気持ち、楽しかった充実感、やってよかった、行ってよかったという満足感を味わう事は子ども達の成長や脳にはとても大切な事。いくら保育園で保育士や子どもたち同士で楽しく過ごしても、ご家族と過ごす時間は何より人生で大きな影響を与えます。それは少ない人数で対話をする事で、自分を受容してくれる安心感がベースとなることです。そこで育まれた自己肯定感が、様々なシーンでチャレンジする原動力になったり、やってみて失敗しても平気！という意欲につながります。是非、これから就学前の子どもの脳の特性を大切に、ご家族との会話や時間を意識してみてください。

さあ、9月。まだまだ暑いけれど、10月に予定している運動会も意識しながらの日々です。今年のテーマは「赤白はつきりつけようじゃないか！」。勝負にとことんこだわり、競う！勝つためにどう作戦を立てるのか？勝ったときはどんな気分なのか？負けたときはどんな感情になるのか？勝ったり負けたりする経験が、きっと心を動かして子ども達は何かを学ぶのではないか、と思っています。職員も赤白別れます。あなたは、どっちのチームに参加しますか？

園友 裕子

## 9月の行事予定

- 3日(土) 遊戯会衣装打合せ
- 8日(木) 避難訓練
- 17日(土) **お弁当の日**
- 29日(木) お誕生会

\*3日(土)の衣装打ち合わせは感染に留意し短時間で行います。  
お時間通りの集合にご協力ください。



### 山田なおこさん

3人のママ。  
ベビーシッターの経験をしなが  
ら保育士資格をゲット。  
うめ組を中心に入ります。

### 甲斐ゆいさん

9月15日～  
2人のママ。  
保育士経験を活かして  
たんぽぽ組を中心に入ります。

## Water Please. か Could you give me a glass of water please?

私たち保育園のスタッフも実は日々悩みながら保育をしています。

人間相手の仕事ですから、どこまでも完ぺきにできた！と思う事はないものです。

だから、日々の保育を振り返りながらスタッフで共有したり、月に一度は園内で研修も行っています。

そんな中で、これって保育園だけではなくご家庭にも伝えたらいいかも！ということ共有してみたいと思います。

### ●Could you give me a glass of water, please?

不意にこう言われたら、聞き取れるだろうか？

「え・・・？」とぼかんとしていたら、追い打ちをかけて

「だーかーらー！Could you give me a glass of water,pleaseって言うてる

じゃん！なんでわかんないの？」なんて言われたら・・・。

かろうじて中学英語を思い出して何となくわかる気はするけれど、

これが本当に学びたての言語だったらどうでしょう？

シンプルに「Water please.」と言ってくれたら、語学学校初心者コースの場合も水を持って行ってあげられて相手も自分もハッピーになるかもしれませんね。

実はこれ、子どもと大人でも同じことが言えるんです。

日本語を習得した大人は常識的な日本語はたいてい分かります。

だけど子どもは習得しはじめたばかり。

一語文を話す子は、一語文を理解する。

二語文を話す子は、二語文を理解する。

そう思って言葉がけを工夫してみてはいかがでしょうか？

さらに、これ、目を見て話すと効果は上がる気がしませんか？

通りすがりに「あ、あれやっといてね！」とお願いされたことの忘れる率！

それと比べて、顔を見合わせながら確認することって情景も一緒に覚えているから達成率も高い気がしませんか？

これと同じ。

何か伝える時に、顔を見ながら短い言葉で伝えるようにすることが、まだ小さい子達には伝わりやすいですね。

当たり前のように、実は日々の中でおろそかにしがちな事。

今一度子どもとのかかわり方を振り返ってみてはいかがでしょうか？

### ●「なんで出来ないの？」は、本当に理由が知りたくて聞いているのか？

つついしてしまいがちですが、これ、子どもに言葉の裏を読ませようとしていることば。言語理解が未熟な子どもには通じにくい言葉なのです。

子どもの中では言葉の意味を理解するより、その場の雰囲気や相手の表情で「よくないことをした」「怒られている」と感じるもの。

そんな時は、大人が発想を転換してどうやったら子どもに伝わるだろう、と考えてみませんか？

何かを伝える時、子どもからイエスを引き出したり、選択する権利を与えたりするといいかもかもしれません。

例えば・・・

「○○して！」⇒「○○しようと思うけど、○○ちゃんお願いしてもいい？」

⇒「ねえ、○○と□□どっちがいいと思う？」など。

「○○しないと□□出来ないよ！」⇒「○○したら△△出来るよ！やらない？」

「□□できないのと、□□できるのどっちがいい？」

いいね！そうだよね。んじゃ、○○やろうか。」

是非やってみてください。うまくいったら、ラッキー！位の気持ちで。

私達も、色んなことを試しながら子ども達と過ごしています。